

# 受信部調整要項

使用測定器		接続図				
<p>●下記の測定器をそれぞれ接続する。</p> <p>(1) 定電圧電源            : 出力電圧 DC13.2V            : 可変範囲 DC5~15V            : 電流容量 1.5A以上</p> <p>(2) オシロスコープ            : 周波数範囲 DC~10MHz            : 測定範囲 0.01~10V</p> <p>(3) 低周波電圧計            : 測定電圧範囲 10mV~2V</p> <p>(4) 高周波信号発生器(SSG)本文中の出力はすべてLOAD時。            : 周波数範囲 0.1~450MHz            : 出力レベル -20~+90dB<math>\mu</math>(0dB<math>\mu</math>=1<math>\mu</math>V)</p> <p>(5) 高周波電圧計            : 周波数範囲 0.1~450MHz            : 測定電圧範囲 0.001~10V</p> <p>(6) 外部スピーカー            : インピーダンス 8<math>\Omega</math></p>		<p>●PLLユニット側</p>				
調整項目	調整時の条件	ユニット	測定箇所	調整値	ユニット	調整箇所
トータルゲイン調整	1. ●表示周波数: 435.00MHz ●SQUELCH: 左一杯 SSGよりS/RFインディケータ のドットが5~6点灯する程度 の信号を入力する。	PLL	D202のカソード側に高周波電圧計を接続する。	出力電圧を最大	PLL	L208, C203 C206, C208 C216, C218 L206, L207
注意: SSG出力は常にS/RFインディケータのドットが5~6点灯するように調整する。また、調整箇所は記入されている順に2~3度、繰り返す。調整後、帯域の両サイドで感度バランスが取れていることを確認する。 受信感度: 20dB NQL - 8dB $\mu$ (0.39 $\mu$ V)以下						
Sメーター調整	1. ●表示周波数: 435.00MHz ●SQUELCH: 左一杯 SSGより+0dB $\mu$ の信号を入力する。	前面操作部	LCDディスプレイのS/RFインディケータ	8ドット点灯	PLL	R221
	2. SSGより+18dB $\mu$ の信号を入力する。			フルスケール(全ドット)点灯		確認
注意: 帯域の両サイドでSSG出力が+0dB $\mu$ ±3dB $\mu$ 以内のとき、S/RFインディケータが8ドット点灯することを確認する。						

## PLL UNIT

